



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年11月12日

上場会社名 株式会社コンヴァノ 上場取引所 東  
 コード番号 6574 URL <http://www.convano.com/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 壺井 成仁  
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員CFO（氏名） 中野 律（TEL）03-3770-1190  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（当社ウェブサイトにて決算説明会動画を配信）  
 （百万円未満四捨五入）

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	615	△50.3	△301	—	△303	—	△303	—	△303	—	△303	—
2020年3月期第2四半期	1,238	6.8	116	32.9	111	31.0	74	37.7	74	37.7	74	37.7
	基本的1株当たり四半期利益				希薄化後1株当たり四半期利益							
	円 銭				円 銭							
2021年3月期第2四半期	△134.97				△134.97							
2020年3月期第2四半期	33.12				32.71							

（参考）EBITDA 2021年3月期第2四半期 △178百万円 2020年3月期第2四半期 232百万円

（注）1. 当社グループは経営上の重要な指標としてEBITDAを用いております。

2. 2021年3月期第2四半期連結累計期間において、新株予約権は逆希薄化効果を有するため、希薄化後1株当たり四半期利益の計算から除外しております。

3. EBITDAの定義、計算方法につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

#### （2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,106	702	702	33.3
2020年3月期	2,219	1,003	1,003	45.2

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,750	△27.5	△190	—	△200	—	△200	—	△200	—	△88.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期2Q	2,248,760株	2020年3月期	2,243,510株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	45株	2020年3月期	45株
------------	-----	----------	-----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期2Q	2,245,932株	2020年3月期2Q	2,224,676株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

2020年11月18日(水)に当社ウェブサイトにて決算説明会動画を配信する予定です。

四半期決算説明資料は、TDnet及び当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11
(1株当たり利益)	12
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により経済活動が停滞し、依然として収束の目途が立たない状況から事業継続及び雇用の不安感が高まり、景気の先行き不透明感は一層強まりました。

当社グループの属するネイル業界におきましても、緊急事態宣言発出に伴う休業・営業時間短縮や、第2波と目される感染再拡大による外出自粛等の影響を受け、一段と厳しい経営環境で推移しました。

このような環境の中、当社グループは、緊急事態宣言発出中はネイルサロン「ファストネイル」全店舗の臨時休業を実施しました。お客様と従業員の安全と健康を第一に、店舗に飛沫防止シールドを設置し、スタッフは施術前後の手指消毒を徹底するなど感染予防対策を講じた上で、6月以降は全店舗で営業を再開しました。

店舗展開では、コロナ禍で厳しい状況下ではあるものの、将来の業績拡大と従業員の雇用維持を見据えて、6月に九州初出店となるファストネイル 福岡パルコ店、9月にファストネイル アスナル金山店、ファストネイル セレオ国分寺店の合計3店舗を新規出店し、2020年9月末の店舗数は57店舗となりました。

連結業績では、店舗の臨時休業で2ヶ月近くサービスの提供機会を喪失したことに加え、営業再開後、ネイル需要の最盛期を迎える7月から8月にかけて感染拡大が再度発生し、売上収益の回復が一時停滞した影響により、前年同期比で減収減益となりました。

しかしながら、売上収益の回復を加速させるため、コロナ禍の発生以降来店のないリピーター向けにキャンペーン告知等を実施するとともに、外部メディアへの掲載内容と更新頻度の見直し・RPAの活用などによる新規顧客獲得の再強化に取り組み、その結果、9月の新規顧客数は営業再開直後の6月に比べて約1.6倍に、前年同月比では約1.4倍に増加し、現在も順調に推移しております。よって、これらの新規顧客がリピーターへ移行することにより、今後の売上収益の回復が進むものと考えております。また、雇用調整助成金等を活用するとともに、採用計画や諸費用の見直しなどコスト削減にも取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上収益は615百万円(前年同期比50.3%減)、営業損失は301百万円(前年同期は営業利益116百万円)、税引前四半期損失は303百万円(前年同期は税引前四半期利益111百万円)、親会社の所有者に帰属する四半期損失は303百万円(前年同期は親会社の所有者に帰属する四半期利益74百万円)、当社グループが経営上の重要な指標としているEBITDA(※)は△178百万円(前年同期は232百万円)となりました。

※ EBITDA=営業利益+減価償却費及び償却費

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## ① ネイル事業

(店舗数)

ブランド名	地域	2020年 3月31日	新規出店	閉店	2020年 9月30日
ファストネイル	関東エリア	36(1)	1	—	37(1)
	東海エリア	6	1	—	7
	関西エリア	5	—	△1	4
	中国エリア	2	—	—	2
	九州エリア	—	1	—	1
	計	49(1)	3	△1	51(1)
ファストネイル・プラス	関東エリア	3	—	—	3
ファストネイル・ロコ	関東エリア	3	—	—	3
合計		55(1)	3	△1	57(1)

(注) ( )内はフランチャイズ店舗であり内数であります。

## (新規出店・閉店)

年	月	内容
2020	4	ファストネイル 神戸三宮店（兵庫県神戸市中央区）を閉店
	6	ファストネイル 福岡パルコ店（福岡県福岡市中央区）を新規出店
	9	ファストネイル アスナル金山店（愛知県名古屋市中区）を新規出店
		ファストネイル セレオ国分寺店（東京都国分寺市）を新規出店

## (業績)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
売上収益	1,224	610	△614
セグメント利益(△は損失)	114	△300	△414

## ② メディア事業

## (業績)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
売上収益	17	6	△11
セグメント利益(△は損失)	3	△1	△4

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ119百万円減少し、323百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物が129百万円減少した一方で、営業債権及びその他の債権が11百万円増加したことなどによるものであります。非流動資産は、前連結会計年度末に比べ6百万円増加し、1,783百万円となりました。これは主に、使用権資産が7百万円増加した一方で、無形資産が2百万円減少したことなどによるものであります。その結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ113百万円減少し、2,106百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ230百万円増加し、1,081百万円となりました。これは主に、借入金が250百万円増加したことなどによるものであります。非流動負債は、前連結会計年度末に比べ42百万円減少し、323百万円となりました。これは主に、借入金が40百万円減少したことなどによるものであります。その結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ188百万円増加し、1,404百万円となりました。

## (資本)

資本は、四半期損失の計上などにより前連結会計年度末に比べ301百万円減少し、702百万円となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ129百万円減少し、151百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は210百万円（前年同期は198百万円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期損失303百万円、減価償却費及び償却費を123百万円それぞれ計上したことなどによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は27百万円（前年同期比7百万円の支出増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出を24百万円計上したことなどによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は109百万円（前年同期は148百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の増加額250百万円を計上した一方で、リース負債の返済による支出を104百万円をそれぞれ計上したことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社グループに与える影響を合理的に算定することが困難なことから未定としておりましたが、直近の業績動向及び市場動向等を踏まえ算定いたしました。

詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	280,562	151,452
営業債権及びその他の債権	79,680	90,532
棚卸資産	64,474	58,457
その他の流動資産	18,165	22,998
流動資産合計	442,881	323,439
非流動資産		
有形固定資産	85,490	84,150
使用権資産	351,375	358,018
のれん	650,260	650,260
無形資産	490,843	489,153
その他の金融資産	141,924	143,784
その他の非流動資産	600	1,626
繰延税金資産	55,596	55,596
非流動資産合計	1,776,088	1,782,587
資産合計	2,218,969	2,106,026
<b>負債及び資本</b>		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	60,101	45,006
借入金	330,000	580,000
未払法人所得税等	27,235	15,856
リース負債	169,686	178,180
その他の流動負債	264,688	262,328
流動負債合計	851,709	1,081,369
非流動負債		
借入金	130,000	90,000
リース負債	187,440	183,467
その他の非流動負債	10,593	11,268
引当金	36,503	37,989
非流動負債合計	364,536	322,723
負債合計	1,216,245	1,404,093
資本		
資本金	92,708	94,481
資本剰余金	658,376	658,945
利益剰余金	251,680	△51,452
自己株式	△40	△40
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,002,724	701,933
資本合計	1,002,724	701,933
負債及び資本合計	2,218,969	2,106,026

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上収益	1,238,425	614,904
売上原価	723,574	668,773
売上総利益(△は損失)	514,851	△53,869
販売費及び一般管理費	398,799	400,257
その他の収益	863	155,606
その他の費用	694	2,357
営業利益(△は損失)	116,221	△300,877
金融収益	227	1,346
金融費用	5,279	3,602
税引前四半期利益(△は損失)	111,169	△303,132
法人所得税費用	37,496	—
四半期利益(△は損失)	73,672	△303,132
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	73,672	△303,132
四半期利益(△は損失)	73,672	△303,132
親会社の所有者に帰属する 1株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益(△は損失)	33.12	△134.97
希薄化後1株当たり四半期利益(△は損失)	32.71	△134.97



## 要約四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益(△は損失)	73,672	△303,132
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	73,672	△303,132
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	73,672	△303,132
四半期包括利益	73,672	△303,132

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	親会社の 所有者に帰属 する持分合計	資本合計
2019年4月1日残高	82,085	655,491	152,690	—	890,266	890,266
会計方針の変更	—	—	△13,572	—	△13,572	△13,572
修正再表示後の残高	82,085	655,491	139,118	—	876,694	876,694
四半期利益(△は損失)	—	—	73,672	—	73,672	73,672
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	73,672	—	73,672	73,672
新株の発行	5,536	5,536	—	—	11,072	11,072
自己株式の取得	—	—	—	△40	△40	△40
株式報酬取引	—	△5,162	—	—	△5,162	△5,162
所有者による抛及及び所有者 への分配合計	5,536	374	—	△40	5,869	5,869
所有者との取引額合計	5,536	374	—	△40	5,869	5,869
2019年9月30日残高	87,621	655,865	212,791	△40	956,236	956,236

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	親会社の 所有者に帰属 する持分合計	資本合計
2020年4月1日残高	92,708	658,376	251,680	△40	1,002,724	1,002,724
四半期利益(△は損失)	—	—	△303,132	—	△303,132	△303,132
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	△303,132	—	△303,132	△303,132
新株の発行	1,772	643	—	—	2,415	2,415
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	△74	—	—	△74	△74
所有者による抛及及び所有者 への分配合計	1,772	569	—	—	2,341	2,341
所有者との取引額合計	1,772	569	—	—	2,341	2,341
2020年9月30日残高	94,481	658,945	△51,452	△40	701,933	701,933

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益(△は損失)	111,169	△303,132
減価償却費及び償却費	116,116	123,060
減損損失	—	2,190
株式報酬費用	△5,162	△74
金融収益	△227	△1,346
金融費用	5,279	3,602
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	7,489	△7,432
棚卸資産の増減額(△は増加)	7,728	6,018
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△5,549	△13,565
未払消費税等の増減額(△は減少)	368	14,605
未払給与の増減額(△は減少)	6,017	7,201
未払賞与の増減額(△は減少)	9,606	△41,574
未払有給休暇の増減額(△は減少)	7,318	14,136
資産除去債務の履行による支出	△1,584	—
その他	△29,427	7,001
小計	229,140	△189,312
利息の受取額	1	2
利息の支払額	△1,886	△3,020
法人所得税等の支払額(△は支払)	△28,899	△17,968
営業活動によるキャッシュ・フロー	198,356	△210,298
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△21,178	△23,772
敷金及び保証金の差入による支出	△8,262	△5,404
敷金及び保証金の回収による収入	8,934	1,714
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,506	△27,462
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	90,000	250,000
長期借入れによる収入	250,000	—
長期借入金の返済による支出	△400,000	△40,000
株式の発行による収入	11,072	2,415
自己株式の取得による支出	△40	—
リース負債の返済による支出	△98,970	△103,764
財務活動によるキャッシュ・フロー	△147,939	108,651
現金及び現金同等物の増減額	29,911	△129,110
現金及び現金同等物の期首残高	145,518	280,562
現金及び現金同等物の四半期末残高	175,429	151,452

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。なお、当第2四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積平均年次実効税率を基に算定しております。

当社グループは第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しております。

基準書	基準名	改訂の内容
IFRS第16号(改訂)	リース	新型コロナウイルス感染症に関連した賃料減免の会計処理に関する実務上の便法を追加

上記基準書の適用による要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、2020年4月8日から店舗の臨時休業を行なっておりましたが、5月18日以降は順次営業を再開し、6月1日以降は全店舗の営業を再開しております。

このため、当第2四半期連結累計期間の業績は例年に比べ著しく悪化しております。

全店舗の営業再開後の売上収益は回復傾向にありますが、新型コロナウイルス感染症の収束により、感染拡大前の水準まで回復するには当連結会計年度末までの期間を要するものと仮定して、会計上の見積りを行っており、前連結会計年度末においた新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

なお、今後、感染拡大の状況が著しく悪化した場合は、将来の業績に影響を及ぼす可能性があります。

## (セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているセグメントであります。

当社は業績評価に使用する区分として、事業の種類別に「ネイル事業」及び「メディア事業」の2つを報告セグメントとしております。ネイル事業は、店舗でのネイル施術等のサービス提供及びネイルケア商品等の販売をしております。メディア事業は、ネイルサロンの店舗網を活かし、企業等に対し、広告サービスを提供しております。セグメントの会計処理の方法は、当社グループの会計方針と同じであります。報告セグメントの利益は、要約四半期連結損益計算書上の営業利益であります。金融収益、金融費用、法人所得税費用は、取締役会が検討するセグメント利益に含まれていないため、セグメント業績から除外しております。

## (2) 報告セグメントごとの売上収益、利益または損失、その他の重要な項目の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			消去	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	ネイル事業	メディア事業	合計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	1,221,497	16,928	1,238,425	—	1,238,425
セグメント間の売上収益	2,539	—	2,539	△2,539	—
計	1,224,036	16,928	1,240,964	△2,539	1,238,425
セグメント利益(△は損失)	113,554	2,668	116,221	—	116,221
金融収益					227
金融費用					5,279
税引前四半期利益(△は損失)					111,169
その他の項目					
減価償却費及び償却費	116,116	—	116,116	—	116,116
減損損失	—	—	—	—	—

(注) セグメント間の売上収益は、原価を基準に決定した価格に基づき算定しております。

当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			消去	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	ネイル事業	メディア事業	合計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	609,113	5,791	614,904	—	614,904
セグメント間の売上収益	869	—	869	△869	—
計	609,981	5,791	615,772	△869	614,904
セグメント利益(△は損失)	△299,948	△929	△300,877	—	△300,877
金融収益					1,346
金融費用					3,602
税引前四半期利益(△は損失)					△303,132
その他の項目					
減価償却費及び償却費	123,060	—	123,060	—	123,060
減損損失	2,190	—	2,190	—	2,190

(注) セグメント間の売上収益は、原価を基準に決定した価格に基づき算定しております。

## (1株当たり利益)

## (1) 基本的1株当たり四半期利益

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(△は損失) (千円)	73,672	△303,132
発行済普通株式の加重平均株式数(株)	2,224,676	2,245,932
基本的1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	33.12	△134.97

## (2) 希薄化後1株当たり四半期利益

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(△は損失) (千円)	73,672	△303,132
発行済普通株式の加重平均株式数(株)	2,224,676	2,245,932
希薄化後普通株式の加重平均株式数(株)	2,251,983	2,256,470
希薄化後1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	32.71	△134.97

(注) 当第2四半期連結累計期間において、新株予約権は逆希薄化効果を有するため、希薄化後1株当たり四半期損失の計算から除外しております。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。